

令和7年スタート

区民のための区政を追求!

二島とよじ、年頭に決意。

令和7年の年頭にあたり、平素より私の活動に、格段のご理解をいただいておりますことに、改めて心より感謝申し上げます。

昨年10月の衆議院議員選挙おきまして、私たち自民党に対し大変厳しい審判が下されました。これまでの対応をいま一度省み、お寄せいただいたご意見を真摯に受け止めた上で、今後の活動に示して参る所存です。

また、6月2日に執行された港区長選挙においては、武井雅昭区長(当時)の続投を支持するとの立場に立ち、皆様に支援のご依頼をさせていただきましたが1528票差で次点との結果となり、清家愛新区長が就任、20年ぶりに区長が交替することとなりました。

区政の大転換点

変化を区民のために!

選挙に際して武井区政の刷新を強く訴えていた清家区長が就任したことから、区長が変わることで港区政にどのような変化がもたらされるのか、私を含め多くの区民や区に関係する方々は高い関心を持って注視しておりました。区民生活に及ぼす影響が良い方向に向かうものであれば立場を超えて後押しをし、悪い方向に向かう恐れがあれば、それを諫め、方向転換を促さなくてはならないとの思いから、緊張感をもって区長の発言を注視しておりました。

就任直後の区議会での施政方針表明冒頭、清家区長は武井区政を継承すると述べる一方で、これまでの自らの主張にはほとんど触れることはなく、その姿勢に疑問を抱かせるスタートとなりました。約半年が過ぎた現在でも、政策的にも人事面においても、選挙で訴えていた内容と実際の行動とが一致しない、かつそれに対する説明のない状況が続いています。

区政の停滞を見過ごさず

これからも区政の安定に全力!

区を取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しております。このままでは港区政が安定性を欠き、停滞、漂流してしまうのではないかという危機感を感じています。私自身そして自民党議員団として、あらゆる場面で粘り強く区長に問うて参ります。

区の内部で起こっていることは、区民の皆様からは見えにくい部分も多くあります。できる限り丁寧に現状をお伝えし、ご意見を頂戴したいと考えておりますので、何なりとお声かけくださいますようお願いいたします。

令和7年も皆様にとりまして輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

港区議会議員 **二島 豊司**

清家新区長に 問う。

二島とよじ代表質問 13項目32問の質問と10問の再質問

二島とよじは令和6年9月12日、第三回定例会で代表質問に立ち、清家新区長に対し、区政に対する考えや姿勢について問いました。

以下は質問と答弁の概要とそれを受けての感想です。質問と答弁の全文は港区議会のホームページをご覧ください。

Q. 区長就任直後の施政方針で、冒頭に武井区長の功績を受け継ぐと表明、一方区の広報紙等にはその記載はない。議会での発言と区民向けの発信とを使い分けることの説明を。

A. 全文はホームページに公開している。

二島の感想 選挙では武井区政批判を続けていたが、就任後議会に対しては一転して武井区政を継承するとの発言、しかしながら広報誌や記者発表資料等にはそれを記載していないこと、相手や媒体によって発言を使い分けることは不誠実な対応と言えるのではないのでしょうか。

Q. 事務事業評価で無駄を削減、50億円の財源を確保するとの考えを重ねて表明しているが、インフレを迎えている現状にはそぐわな

いのではないかと。

A. 50億円という数字ありきではなく、より効率的・効果的な区民サービスを提供する。

二島の感想 選挙時から主張し前回定例会でも答弁していた事業見直しによる50億円の財源捻出という方針を転換するのか明確にせず答弁内容を変更、議会に対する説明責任を果たす意思が感じられません。

Q. 港区基本構想の見直しを掲げているが、区職員への負荷やコストなど考慮すると必要性は薄く、撤回すべき。

A. 新たな基本構想の策定に着手する。

二島の感想 現在6年間(3年毎の見直し)を計画期間とする港区基本計画・実施計画を策定している。長期的な将来を見通すことは困難であり、人的・財政的負担を考慮すれば基本計画をブラッシュアップなどすれば、わざわざ基本構想を作り直すなくとも足りるものと考えます。

Q. 区長は現在2割程度の女性管理職割合を4年で5割に引き上げると宣言。短期間で達成しようとするれば、人事バランスが崩れ、組織

の肥大化を招くのではと危惧する。修正または撤回を求める。

A. 民間人材の活用、ポスト増などにより任期4年で50%実現を目指す。

Q. 管理職昇任を目指す男性職員は置き去りか。

A. 男性職員についても昇任意欲向上と積極的登用を行う。

二島の感想 女性管理職割合を増加させるためにポストを新設することは本末転倒。性急に進めれば組織のバランスを崩し、肥大化を招くことにも繋がる。また若手男性職員に対する誤ったメッセージとなる。管理職の女性比率を上げることに賛同するが、一朝一夕に結果を求めるのではなく、中長期的な目標として計画的に職員の意識変容とスキルアップを進めるべきです。



質問の様子を動画配信しています

右記動作で
ご覧頂けます

🔍 港区議会

📺 動画配信

🔍 議員名で検索

二島豊司

二島豊司(にしま・とよじ)プロフィール

- 昭和47年(1972年)、栃木県足尾町(現・日光市)生まれ
- 栃木県立宇都宮高校卒→早稲田大学法学部卒
- 株式会社日本リース勤務→衆議院議員・梶山弘志秘書
- 平成19年4月、港区議会議員に初当選(現在5期)
- 令和元年5月、第46代港区議会議長就任(～令和3年6月)

- ボーイスカウト港17団(港区白金)リーダー、ガールスカウト東京94団(港区白金)をサポートするリーダー、障がい者スイミングクラブボランティア等も行う
- 家族は妻と2男(16歳、9歳)
- ◆自民党議員団幹事長、港区議会総務常任委員長、建設常任委員長、自民党東京都連青年部幹事長等を歴任 ◆元・明治学院大学非常勤講師(都政研究)
- ◆NPO法人 先端政策研究機構主任研究員